

東京学芸大学大学史資料室常設展示

Gakugei
Album
2025
Autumn

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム



●写真上:「豊島師範学校・授業風景」〔紀元二六〇〇年 卒業記念〕(東京府豊島師範学校、[1940年])
●写真下:「女子師範学校・寄宿舎 ビンポン」〔東京府女子師範学校 第24回卒業記念 大正15年3月〕(東京府女子師範学校、1926年3月)

師範学校における学びと生活

【会期】2025年10月14日(火)～12月19日(金)

〔特別展示〕10月28日(火)～11月14日(金)

【時間】〔平日〕10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 〔電話〕042-329-7277

〔メールアドレス〕shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、2021年度より図書館3階に事務室と閲覧室を開設して、常設展示を行っています。これは、東京学芸大学大学史資料室が設立から10年を経るなかで、大学史資料室の機能を一層高めるために取り組むものです。

大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

常設展示は、年間テーマを設定し、1年間を4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えていきます。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

2025年度常設展示の年間テーマは「師範学校の歴史をふり返る」で、10月14日から第三期の展示を開始します。第三期のタイトルは「師範学校における学びと生活」です。この展示では、東京学芸大学の前身校である師範学校においてどのような教育が行われ、そこに集う生徒たちはどのような生活を送っていたのかを、当時の授業風景や課外活動、寄宿舎生活についての資料や写真から読み解きます。展示資料は、1920年代の師範学校生徒の教育実習に関する資料（『教授案』や『実習録』）や、生徒たちが作成した修学旅行の旅行報告記、師範学校の授業や教育実習、寄宿舎での生活の様子を捉えた写真など多岐に亘ります。また、10月28日から11月14日にかけての期間は、特別展示として師範学校時代の学生服や学帽、柔道着などのモノ資料の展示を行います。

2023年、東京学芸大学は1873年に東京府小学教則講習所として設立されてから150年目の「創基150周年」を迎えました。常設展示は、東京学芸大学とその前身校、附属学校園の歴史を振り返るものです。私たちは、過去から未来へと、小さくとも確実な歩みを進めています。ぜひとも、本学学生、卒業生、教職員、そして関係者のみなさんには、常設展示に映し出される東京学芸大学の歴史とそこで学んできた学生の姿に想いをはせていただければと存じます。

2025年10月14日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

Gakugei
Album
2025
Spring

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム

